

# はもりあ

「はもりあ」とは造語で、女性と男性の協働という素敵な“ハーモニー”が奏でられる“中核エリア”という意味です。2006年10月に公募で決定した男女共同参画センターの愛称です。

2017年2月発行

今年度も残すところあと2か月です。さんかくカレッジ市民企画も、こどもスペース四日市の企画による「子育てだって、さんかく！」を残すのみとなりました。「はもりあフェスタ」は、3日～5日開催です。でも、はもりあの講座は3月もまだまだ続きます。(中面に予告あり!!) 1月に入って久しぶりの大雪となり、寒い日が続いていますが、風邪などひかれないうように体調には十分お気を付けてください。

## 男女共同参画社会に関する世論調査 **結果が公表されました!**

男女共同参画に関する世論調査が、昨年夏に実施され、その結果が10月に公表されました。内閣府では、男女共同参画に関する国民の意識を調査し、今後の施策の参考にする目的で、数年おきにこの調査を実施しています。今回は平成24年の実施でしたが、いくつかの継続項目は、平成26年の「女性の活躍推進に関する世論調査」の際に調査しています。

### ○女性の就業継続を支持するという考え方が、男女共に50%越え!

一般的に女性が職業をもつことについての考え方を問う質問では、「子供ができて、ずっと職業を続ける方がよい」という回答が、男女計54.2%で、平成26年度における同質問の回答数44.8%から10%近く増加しました。男女別に見ても、女性が55.3%、男性が52.9%となっており、女性が職業をもつことを肯定する考え方が、より一般的になったと考えられます。

### ○社会全体でみた男女の地位については、まだ不平等!

社会全体でみた場合の、男女の地位の平等さについて問う質問では、「男性が非常に優遇されている」が9.7%、「どちらかといえば男性の方が優遇されている」が64.5%と、およそ4人中3人が「男性の方が優遇されている」と答えました。特に「政治の場」、「社会通念、慣習、しきたり」で、多くの方が不平等を感じていることがうかがえます。

### ○固定的役割分担意識については、賛成が過去最少に!

「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方、いわゆる「固定的役割分担意識」を問う質問では、「賛成」・「どちらかといえば賛成」と答えた人の割合は計40.6%と、過去最少の割合となりました。「賛成」・「どちらかといえば賛成」と答えた方の理由は、「妻が家庭を守った方が、子供の成長などにとって良いと思うから」、「家事・育児・介護と両立しながら、妻が働き続けることは大変だと思うから」などが挙げられ、「反対」・「どちらかといえば反対」と答えた方の理由は、「固定的な夫と妻の役割分担の意識を押しつけるべきではないから」、「妻が働いて能力を発揮した方が、個人や社会にとって良いと思うから」などが挙げられました。

## 男女共同参画社会の実現に向けて…

平成4年から実施されている世論調査から、社会の変化とともに、女性の就労や、固定的役割分担に対する意識も徐々に変わってきてはいるものの、まだ多くの方が男女平等とは感じていないという状況があります。

四日市市では、男女共同参画への施策として、「働く女性、働きたい女性のための就労相談」を行い、就労に関する相談を行うとともに、「さんかくカレッジ」等で男性の家庭参画を進めています。また、色々なことを話し合う場に女性の参画が必要であることを啓発するために、「男女共同参画講演会」を行います。

性別にかかわらず、男性も女性も個性と能力を十分に発揮できる「男女共同参画社会」の実現に向けて、今後も様々な取り組みを行っていきます。

# 子どもたちをネットDVの被害者にも加害者にもさせないために 男女平等教育指導者養成講座

## 募集中

ジェンダーの視点を学び、子どもたちに「ありのままの自分や他者」を受容・表現することを伝えるとともに多様な生き方を尊重できる力を育むためのお手伝いをしていただける方を養成する講座です。

- ◆対象：市内に在住、通勤、通学している人で、3日間とも受講でき、来年度から出前講座の講師として活動していただける方
- ◆時間：3月13日（月）～15日（水） 9:30～16:30
- ◆場所：本町プラザ3階 はもりあ四日市会議室（四日市市本町9-8）
- ◆講師：遠矢 家永子さん（NPO法人SEAN教育部門「G-Free」代表）ほか
- ◆定員：15人（先着順） ◆料金：無料
- ◆その他：無料託児あり（生後6カ月～未就学児程度、3月4日（土）までに要申込み）
- ◆申込・問合せ：住所・氏名・電話番号・託児の有無（有の場合は子どもの名前と年齢）を、電話かFAXまたはメールで「はもりあ四日市」へお申込みください。



## 予告 平成28年度 男女共同参画講演会

3月11日（土）14:00～「育児も仕事も後悔したくないから！」を予定しています。女性が「今」自分の意思を伝えることは、今の子どもたちが、夢を大きく広げる未来へつなぐためでもあります。自分ができる小さなことを一緒に考えましょう。詳しくは、広報よっかいち2月下旬号、はもりあ四日市ホームページをご覧ください。



### 準備中

## 父と子のさんかくカレッジ2016 第3弾 を開催します

3月25日（土）9:30～「パパのためのカメラ講座（初心者向け）」を予定しています。ぱっちり撮れたつもりが出来はトホホ・・・なんてことはありませんか？そんなちょっぴりカメラに自信のないパパにコツを教えます。帰る時にはプロ並み？のカメラマンかも！？



3月31日（金）10:00～「キッズヨガ」

を予定しています。ヨガってなんだ！？  
春休みの1日、みんなで楽しくヨガに  
挑戦しましょう！！集中力がアップするかも！？



## 春休みこどもさんかくカレッジ を開催します

「父と子のさんかくカレッジ2016」第3弾・「春休みこどもさんかくカレッジ」の詳しい内容・申込みにつきましては、広報よっかいち2月下旬号、情報紙「はもりあ」で、お知らせします。どうぞ、お楽しみに・・・

# 相談室 から

## 平成28年度 男性の相談員による 男性のための電話相談

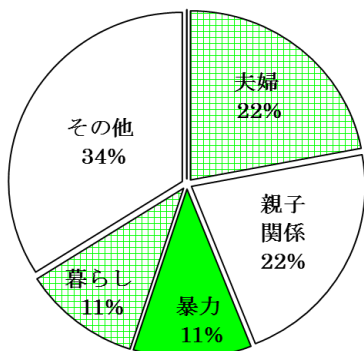


### 《担当相談員の声》

今年も多くのご相談をいただきました。その中には、「以前にも電話したんやけど・・・」という方もおられました。一方、最近では、お若い方からご年配の方まで、そして、ご自身の生活や仕事、健康をはじめ、ご夫婦、ご家族のことなど、様々な方、様々な内容のお話を聴かせていただいております。こうした機会がそれほど多くない中で、この電話相談を利用していただけていることに、とても感謝しています。

そして、そのご相談のどれもが、ないがしろにできないものばかりです。お困りの様子が電話口を通して伝わってきます。こちらは、相談を受ける者として、少しでもお役に立つことができればとの思いで、誠実かつ真摯にお話をおうかがいしています。

電話をかけるということにためらいや抵抗もおありでしょうが、「ちょっと聞いてよー」と、ほんの少しだけ勇気をだしてみませんか。これまで以上に多くの相談をお待ちしています。



### ひとりで抱え込まず、まずはご相談ください。

- ☆ 男性からの悩みの相談を、男性の相談員がお聴きします。(ひとり30分程度)
- ☆ 相談内容は、自分の性格や生き方、夫婦関係、子どものこと、性・セクシャリティなど何でもかまいません。
- ☆ 匿名でOKです。プライバシーは厳守します。
- ☆ 相談は無料です。



### 《平成28年度相談日》

2月24日(金)

3月24日(金)

### 《時間》

13:00~15:00

### 《専用電話》

059-354-1070

### 今月のキーワード

## ガラスの天井

「ガラスの天井」とは、組織内で能力のある人が、性別や人種などを理由に昇進等を阻まれてしまう状態を、「見えない天井」として表現した言葉です。企業における上級管理職への昇進や、意思決定の場への登用を阻害する要因として、多く用いられています。米国の大統領選で敗れたヒラリー・クリントン氏も、「この天井を打ち破れなかった」と述べました。

日本では、昇進・昇格などにおいて、性別による差別がなくなるよう法整備はされていますが、「性別にかかわらず、その個性と能力を発揮することができる」にはまだまだ難しいのが現状で、女性の社会進出は他国と比べて遅れています。(はもりあ101号でお知らせしたように、ジェンダーギャップ指数は114国中111位です)

「ガラスの天井」を打ち破ることもまた、職場をはじめあらゆる分野での男女共同参画を実現するうえで、重要な課題となっています。

※ジェンダーギャップ指数：社会進出における男女の格差を示す指数。世界経済フォーラム(WEF)が毎年公表している。

男女  
共同

## さんかくeye

このコーナーでは、はもりあ四日市のスタッフが、本を読んだり、映画を観たり、お話を聞いたり、また、日々の生活の場面で感じたことを綴っていきます。もちろん、『男女共同参画』の視点★を通してね。

今回も、私(43歳男性)の子育て奮闘記です。

前号でご報告したように、妻の入院中も順調に家事・育児をこなしていたのですが、妻とS君が退院する2日程前から試練が始まりました。最初にK君が発熱を出し、その2日後にはR君の発熱と嘔吐が始まりました。R君が落ち着いたとたん、今度はK君も発熱と嘔吐が始まり、2人とも流行りの胃腸風邪にかかってしまったのです。病院の薬で2人とも元気になったと思ったとたん、今度はR君が溶連菌感染症にかかり、医師から登園禁止を言い渡されました。そしてK君も1週間後に溶連菌感染症にかかり、同じく登園禁止になりました。2人揃って幼稚園に登園できたのは、最初のK君の発熱から3週間後のことです。

その間は、何度も病院に連れて行ったり、不安な子どもたちに付き添ったりと、子どもが病気になったとたん順調という言葉はどこかへ吹き飛んでいきました。「予定をたてるよりも、隙を見つけて出来る時に出来ることをするべき」ということを学びました。

【子どもから病気をうつされ、2日間寝込んでしまった担当: Y】



# 「さんかくカレッジ2016」市民企画講座

## “いい人”ではなく“私らしい人”へ ～人間関係は自分を変えられる～

全6回  
【企画・運営】  
ままたまご

12月6日(火)に、ありのままの自分を認め、表現していくことを目的として、ワークショップを中心にした全6回の講座が終了しました。前半の3回は、NPO法人参画プラネット常任理事の伊藤静香さんから、「私らしさとは何か」、「自分も相手も大切にするコミュニケーション・対等な関係」などを学ぶとともに、後半の3回は、日本アドラー心理学会家族コンサルタントの田口薫さんから、「感情を人のせいにはせず、きちんと引き受ける」、「自分を変えていけるものは何か」などを学びました。

受講者からは、「知りたかったこと以上のことを教えていただけで満足です」、「この講座の内容を100%消化できるようになりたい」など満足度は高く、「今後も、はもりあ四日市で企画される講座に参加したい」との感想もいただきました。



【講座の様子】

**参加者募集中** **子育てだって、さんかく！** 《さんかくカレッジ2016市民企画講座》  
**～みんなで学ぼう、子どもの育ちに大切なこと～**

**2 「子育て支援とは？」** 《NPO法人体験ひろば☆こどもスペース四日市》企画・運営

2/19(日)  
13:30～15:30

講師：相模女子大学学芸学部  
子ども教育学科  
教授 久保田 力さん

場所：本町プラザ1階ホール

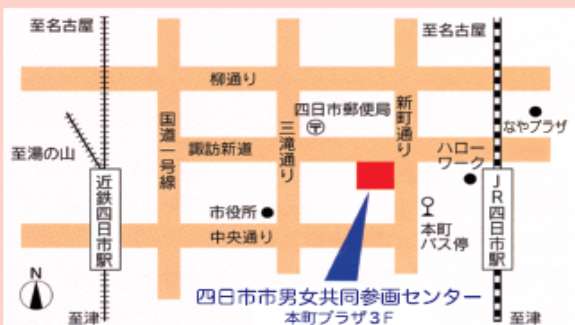
孤立した子育ての中で漠然とした不安を抱えた親が多い中、親が子育てに自信をもち親自身が成長できるような支援が必要なのではないでしょうか。単なる保育サービスの子育て支援ではなく、親同士で支え合い助け合う子育ての相互支援としてニューオーランドの「プレイセンター」を例に解説します。

- ① 「子どもの権利とは」  
2/18(土)9:30～11:30
  - ② 「子育て支援とは？」  
2/19(日)13:30～15:30
  - ③ 「遊びの大切さ」  
2/25(土)13:30～15:30
- 3回連続講座の募集は、定員いっぱいになりました。

**対象** 市内在住、または通勤・通学し、子育てに興味のある方  
**定員** 先着 70名(第2回講座受講のみの募集です)  
**参加費** 500円  
**申込み** 受講をご希望の方は講座名・氏名・住所・電話番号を電話かFAX、またはEメールで「はもりあ四日市」まで  
 電話 354-8331 FAX 354-8339 ✉ kyoudousankaku@city.yokkaichi.mie.jp

○●◎あとかき◎●○

新年も、はや一カ月が過ぎ2月4日が立春です。二十四節気が成立した中国内陸部では、気温が上がり始める頃ですが、海に囲まれた日本ではずれ込み、立春の頃が寒さのピークになることが多いようです。くれぐれもご自愛くださいませ。



四日市市男女共同参画センター（はもりあ四日市）

〒510-0093 四日市市本町 9-8 本町プラザ 3F  
TEL.059-354-8331 FAX.059-354-8339

●開館時間 AM9:00～PM9:00

●休館日 日曜日、月曜日、祝日、年末年始

Eメール kyoudousankaku@city.yokkaichi.mie.jp

http://www.city.yokkaichi.mie.jp/danjo/index.shtml